

## 医療安全通信 第13号-1

## 【薬局部医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

## 小児用量が年齢別に設定されている薬剤

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の「共有すべき事例」2015年10月分には『小児用量が年齢別に設定されている薬剤』についての事例が掲載されています。

[http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing\\_case\\_2015\\_10.pdf](http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing_case_2015_10.pdf)

## ◆ 事例の内容

7歳児の処方せんにアレロック顆粒0.5% 1g 分2と記載されていた。処方せん監査時および調剤時には気付かなかったが、添付文書に記載されている用量はオロパジン塩酸塩として1回5mg(顆粒剤として1g)であることに鑑査者が気づき、処方医へ疑義照会をした。その結果、アレロック錠5 2錠 分2へ変更となった。

## ◆ 背景・要因

アレロック顆粒0.5%の小児における用量は2歳以上7歳未満と7歳以上に分かれて設定されているが、患者は7歳になったばかりであった。また、業務が繁忙であったことから、調剤時に過去の処方と照合しただけで、小児における用量の確認をしなかった。

## ◆ 薬局が考えた改善策

小児の用量が年齢別に設定されている医薬品がある。線引きされる年齢と用量を把握したうえで、継続して来局している小児が年を重ねていくことも頭に入れておく必要がある。

## ◆ 事例のポイント

- 小児における用量が年齢別に設定されている医薬品があるが、医薬品によって用量の線引きとなる年齢は異なる。
- 調剤時に用量が適切か確認できるように、薬剤棚に年齢別の用量を表示するなどの対策も有用である。

【原文のまま抜粋】

小児用量が、体重換算の用量で添付文書に記載されている場合と、年齢別に設定されている場合があります。小児の処方箋を調剤する時には、投与量が体重に見合っているかを確認することはもちろんのこと、年齢別の用量にも注意しましょう。また、患者の年齢が、添付文書に記載の年齢に満たない場合、適応外使用となり、疑義照会が必要になることもあります。薬品棚や薬品容器に用量表示や注意喚起の掲示をしたり、散薬台、水薬台や鑑査台に小児の年齢別・体重別薬用量の表を用意する等、処方チェックのための環境整備を行いましょ。

2015年12月16日現在の添付文書データを基にして、『用量が年齢別に設定されている薬品の一覧表』を作成しました。その中でも繁用されているアレルギー薬について抜粋して、次頁に掲載します。全データ(Excelデータ)は、旭川薬剤師会ホームページ・会員専用の薬局部のページからダウンロードできます。自薬局に合わせて、データを加工することができますので、ご利用ください。



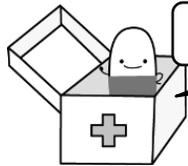
## 【調剤事故防止対策例】

常用量、小児薬用量、注意項目を記載したラベルを作成し、薬瓶に付ける。

薬局・薬剤師のための調剤事故防止マニュアル  
第2版(社団法人日本薬剤師会 編集)より



医療安全通信のバックナンバーを、旭川薬剤師会HP・会員専用の薬局部のページでご覧いただけます。掲載資料や参考資料もダウンロードできますので、自薬局向けに改訂してご利用ください。



医療安全通信 第13号-2

【薬局部医療安全委員会】

小児用量が年齢別に設定されているアレルギー薬

※ 処方鑑査、疑義照会等の際には、最新の添付文書を確認して下さい。

商品名	一般名	用法・用量
アレロック錠2.5・5、OD錠2.5・5、他GE	オロパタジン塩酸塩	成人：通常、成人には1回オロパタジン塩酸塩として5mgを朝及び就寝前の1日2回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 小児：通常、7歳以上の小児には1回オロパタジン塩酸塩として5mgを朝及び就寝前の1日2回経口投与する。
アレロック顆粒0.5%	オロパタジン塩酸塩	成人：通常、成人には1回オロパタジン塩酸塩として5mg(顆粒剤として1g)を朝及び就寝前の1日2回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 小児：通常、7歳以上の小児には1回オロパタジン塩酸塩として5mg(顆粒剤として1g)を朝及び就寝前の1日2回経口投与する。通常、2歳以上7歳未満の小児には1回オロパタジン塩酸塩として2.5mg(顆粒剤として0.5g)を朝及び就寝前の1日2回経口投与する。
インタール細粒10%	クロモグリク酸ナトリウム	通常2歳未満の幼児には1回0.5g(クロモグリク酸ナトリウムとして50mg)を、また、2歳以上の小児には1回1g(クロモグリク酸ナトリウムとして100mg)をそれぞれ1日3~4回(毎食前ないし毎食前及び就寝前)経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし、1日投与量はクロモグリク酸ナトリウムとして40mg/kgを超えない範囲とする。
ジルテックドライシロップ1.25%、他GE	セチリジン塩酸塩	〔成人〕通常、成人には1回0.8g(セチリジン塩酸塩として10mg)を1日1回、就寝前に用時溶解して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は1日1.6g(セチリジン塩酸塩として20mg)とする。 〔小児〕通常、2歳以上7歳未満の小児には1回0.2g(セチリジン塩酸塩として2.5mg)を1日2回、朝食後及び就寝前に用時溶解して経口投与する。通常、7歳以上15歳未満の小児には1回0.4g(セチリジン塩酸塩として5mg)を1日2回、朝食後及び就寝前に用時溶解して経口投与する。
ジルテック錠5・10、他GE	セチリジン塩酸塩	ジルテック錠5〔5mg錠〕 〔成人〕通常、成人にはセチリジン塩酸塩として1回10mgを1日1回、就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は1日20mgとする。 〔小児〕通常、7歳以上15歳未満の小児にはセチリジン塩酸塩として1回5mgを1日2回、朝食後及び就寝前に経口投与する。 ジルテック錠10〔10mg錠〕 通常、成人にはセチリジン塩酸塩として1回10mgを1日1回、就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は1日20mgとする。
アレグラドライシロップ5%	フェキソフェナジン塩酸塩	〔成人〕通常、成人にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回60mg(ドライシロップとして1.2g)を1日2回、用時懸濁して経口投与する。なお、症状により適宜増減する。 〔小児〕通常、7歳以上15歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回60mg(ドライシロップとして1.2g)、7歳以上12歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回30mg(ドライシロップとして0.6g)を1日2回、用時懸濁して経口投与する。なお、症状により適宜増減する。 通常、2歳以上7歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回30mg(ドライシロップとして0.6g)、6か月以上2歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回15mg(ドライシロップとして0.3g)を1日2回、用時懸濁して経口投与する。
フェキソフェナジン塩酸塩DS6%「トール」	フェキソフェナジン塩酸塩	通常、成人にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回60mg(ドライシロップとして1g)を1日2回、用時懸濁して経口投与する。通常、7歳以上12歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回30mg(ドライシロップとして0.5g)を1日2回、12歳以上の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回60mg(ドライシロップとして1g)を1日2回、用時懸濁して経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
アレグラ錠30mg・60mg、アレグラOD錠60mg、他GE	フェキソフェナジン塩酸塩	通常、成人にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回60mgを1日2回経口投与する。 通常、7歳以上12歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回30mgを1日2回、12歳以上の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回60mgを1日2回経口投与する。 なお、症状により適宜増減する。
ディレグラ配合錠	フェキソフェナジン塩酸塩/塩酸プロピドエフェドリン	通常、成人及び12歳以上の小児には1回2錠(フェキソフェナジン塩酸塩として60mg及び塩酸プロピドエフェドリンとして120mg)を1日2回、朝及び夕の空腹時に経口投与する。
タリオン錠5mg・タリオン錠10mg、タリオンOD錠5mg・10mg	ベポタスチンベシル酸塩	〔成人〕通常、成人にはベポタスチンベシル酸塩として1回10mgを1日2回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 〔小児〕通常、7歳以上の小児にはベポタスチンベシル酸塩として1回10mgを1日2回経口投与する。
キプレスチュアブル錠5mg、シングレアチュアブル錠5mg	モンテルカストナトリウム	通常、6歳以上の小児にはモンテルカストとして5mgを1日1回就寝前に経口投与する。 モンテルカストチュアブル錠はモンテルカストフィルムコーティング錠と生物学的に同等でなく、モンテルカストチュアブル錠はモンテルカストフィルムコーティング錠と比較してバイオアベイラビリティが高いため、モンテルカストチュアブル錠5mgとモンテルカストフィルムコーティング錠5mgをそれぞれ相互に代用しないこと。
キプレス細粒4mg、シングレア細粒4mg	モンテルカストナトリウム細粒	通常、1歳以上6歳未満の小児にはモンテルカストとして4mg(本剤1包)を1日1回就寝前に経口投与する。 1. 体重、年齢、症状等による用量調節をせず、全量を服用すること。 2. 光に不安定であるため、開封後直ちに(15分以内)に服用すること。
ザイザルシロップ0.05%	レボセチリジン塩酸塩	〔成人〕通常、成人には1回10mL(レボセチリジン塩酸塩として5mg)を1日1回、就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は1日20mL(レボセチリジン塩酸塩として10mg)とする。 〔小児〕通常、6か月以上1歳未満の小児には1回2.5mL(レボセチリジン塩酸塩として1.25mg)を1日1回経口投与する。 通常、1歳以上7歳未満の小児には1回2.5mL(レボセチリジン塩酸塩として1.25mg)を1日2回、朝食後及び就寝前に経口投与する。 通常、7歳以上15歳未満の小児には1回5mL(レボセチリジン塩酸塩として2.5mg)を1日2回、朝食後及び就寝前に経口投与する。
ザイザル錠5mg	レボセチリジン塩酸塩	〔成人〕通常、成人にはレボセチリジン塩酸塩として1回5mgを1日1回、就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は1日10mgとする。 〔小児〕通常、7歳以上15歳未満の小児にはレボセチリジン塩酸塩として1回2.5mgを1日2回、朝食後及び就寝前に経口投与する。
クラリチンドライシロップ1%、他GE	ロラタジン	成人：通常、ロラタジンとして1回10mg(ドライシロップとして1g)を1日1回、食後に用時溶解して経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。 小児：通常、3歳以上7歳未満の小児にはロラタジンとして1回5mg(ドライシロップとして0.5g)、7歳以上の小児にはロラタジンとして1回10mg(ドライシロップとして1g)を1日1回、食後に用時溶解して経口投与する。
クラリチン錠10mg、クラリチンレディタブ錠10mg、他GE	ロラタジン	成人：通常、ロラタジンとして1回10mgを1日1回、食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。 小児：通常、7歳以上の小児にはロラタジンとして1回10mgを1日1回、食後に経口投与する。